

腎移植患者における带状疱疹予防に関するお知らせ

不活化ワクチンである乾燥組換え带状疱疹ワクチン（シングリックス筋注用）の適応が拡大され、带状疱疹の発症リスクが高いと考えられる 18 歳以上の方へも接種が可能となりました。シングリックスは 50 歳以上を対象とした主要な臨床試験において、2 回の接種により带状疱疹に対する高い予防効果と、長期間にわたる予防効果の持続（約 10 年間）が確認されています^{1,2,3}。

今回の接種対象者拡大の追加承認は、腎移植患者や自家造血幹細胞移植患者における臨床試験結果^{4,5}に基づいています。シングリックスは不活化ワクチンのため生ワクチンが禁忌となる免疫抑制剤使用中の患者でも接種が可能です。現在のところ腎移植患者における発症予防を検証したデータはありませんが、腎移植患者を対象とした臨床試験⁴において、免疫原性が確認できています。問題となる副反応や、拒絶反応を増加させる報告はありません。また、自家造血幹細胞移植患者を対象とした臨床試験⁵で検証された予防効果（約 2 年間の観察期間において 68.2%）は腎移植患者においても参考になり得るデータと考えています。

固形臓器移植患者に対するワクチンの接種時期に関しては、CDC の勧告や海外の最新のガイドラインでは、原則、移植前に接種することが推奨され、移植前にワクチン接種が不可能な場合は、移植後少なくとも 6～12 ヶ月後に接種することが望ましいとされています^{6,7}。

以上より、腎移植患者に対して带状疱疹の発症予防のためにシングリックスを接種することを、会員の皆様には積極的に検討して頂きますようお願い致します。

【参考文献】

1. Lal H. et al.: N Engl J Med. 372(22), 2087-2096, 2015
2. Cunningham AL. et al.: N Engl J Med. 375(11), 1019-1032, 2016
3. Strezova A. et al.: Open Forum Infect Dis. 9(10) Oct 2022
4. Vink P. e al.: Clin Infect Dis. 70(2), 181-190, 2020
5. Bastidas A. et al.: JAMA. 322(2), 123-133, 2019
6. 米国 CDC (<https://www.cdc.gov/shingles/vaccination/immunocompromised-adults.html>)
7. カナダアルバータ州予防接種方針 | 予防接種の特別な状況 (<https://open.alberta.ca/dataset/aip/resource/8f7f9960-2647-47af-868c-4394a24fd691/download/AIP-Adult-SOT.pdf>)

2023 年 11 月 7 日

（一社）日本臨床腎移植学会 理事長 剣持 敬